

京都府改訂版レッドリスト 2023（は虫類・両生類・淡水魚類・コケ植物）

令和6年1月10日

総合政策環境部

自然環境保全課

京都府では、府内における絶滅のおそれのある野生生物をとりまく状況の変化をふまえ、分野ごとに順次調査を実施し、レッドリスト※の改訂を進めています。

この度、「は虫類」「両生類」「淡水魚類」「コケ植物」の4つの分類群について、以下の通り、レッドリストを改訂しました。

※レッドリスト・・・絶滅のおそれのある野生生物種をとりまとめたリスト

1 改訂の概要

カテゴリー	は虫類			両生類		
	今回 (2023)	前回 (2015)	増減等	今回 (2023)	前回 (2015)	増減等
絶滅種 (府内で絶滅した種)	0種	0種	ランクアップ 1種 ランクダウン 1種 新規 1種 リスト外 4種	0種	0種	ランクアップ 7種 新規 1種 リスト外 3種 種名変更等 3種
絶滅寸前種 (絶滅の危機に瀕している種)	0種	0種		7種	4種	
絶滅危惧種 (絶滅の危険が増大している種)	1種	0種		3種	1種	
準絶滅危惧種 (存続基盤が脆弱な種)	0種	2種		4種	3種	
要注目種 (動向を注目、情報不足な種)	8種	10種		5種	11種	
合計	9種	12種		19種	19種	

カテゴリー	淡水魚類			コケ植物		
	今回 (2023)	前回 (2015)	増減等	今回 (2023)	前回 (2015)	増減等
絶滅種 (府内で絶滅した種)	3種	3種	ランクアップ 2種 ランクダウン 2種 新規 5種 リスト外 1種 種名変更等 1種	3種	4種	ランクダウン 6種 新規 12種 リスト外 10種 種名変更等 1種
絶滅寸前種 (絶滅の危機に瀕している種)	14種	12種		40種	44種	
絶滅危惧種 (絶滅の危険が増大している種)	13種	14種		48種	46種	
準絶滅危惧種 (存続基盤が脆弱な種)	7種	6種		36種	36種	
要注目種 (動向を注目、情報不足な種)	11種	8種		13種	8種	
合計	48種	43種		140種	138種	

2 特徴

- 今回の調査で希少種の現状に関する情報が多く得られた。特にコケ植物では、京都府新産種が多く発見された。
- 両生類では、山地性の種でランクが上がったものが多く、台風災害の影響やシカ害による植生の衰退等の生息環境の悪化が関係していると考えられる。このような傾向は、は虫類やコケ植物でも見られた。
- は虫類や両生類では、確認例が増えたためにランクが下がった種がいるが、水田等の生息環境が減少している傾向は明らかに見られるので、今後の継続的な調査が必要だと考えられる。
- 両生類と淡水魚類では、近年の研究結果により、これまで1種とされた種が複数種に細分化されたものが多く見られた。これらの種は、これまで考えられていたよりも絶滅の恐れが高い可能性があると考えられる。
- 淡水魚類では、外来生物の影響や水路のコンクリート化などの生息環境の悪化により、予想以上に激減している種もいた。

3 今回の改訂で注目される種

<は虫類>

タカチホヘビ（タカチホヘビ科）

〔前回〕要注目種 → 〔今回〕絶滅危惧種

分布が局限されることが明らかになったためランクアップ。森や林などが減少して高温乾燥した環境が増えていることが絶滅を危惧される理由のひとつ。日本固有種。



ミナミイシガメ（イシガメ科）

〔前回〕準絶滅危惧種 → 〔今回〕リスト外

近年の研究により、外来種である可能性が高いことが明らかになったため、リスト外とした。



<両生類>

セトウチサンショウウオ（サンショウウオ科）

ヤマトサンショウウオ（サンショウウオ科）

〔今回〕絶滅寸前種（種名変更）（※従来からのランク変更なし）

カスミサンショウウオの分類が細分化され、府内に生息するものは2種に分けられた。セトウチサンショウウオ(右写真上)は府中部地域を中心に生息しており、ヤマトサンショウウオ(右写真下)は府南部地域に生息している。



ヒメタゴガエル（アカガエル科）

〔今回〕要注目種（新規記載）（※タゴガエルはリスト外）

タゴガエルの一部が新種として細分化され、府レッドリストにも掲載された(タゴガエルはリスト外)。タゴガエルよりも小型。京都市での発見にちなみ、学名は *Rana kyoto* と命名された。



<淡水魚類>

シロヒレタビラ（コイ科）

〔前回〕絶滅危惧種 → 〔今回〕絶滅寸前種

府内のいずれの河川においても激減しているため。とりわけ木津川水系では、特定外来生物コクチバスの強度の捕食にさらされているものと考えられる。



ゴクラクハゼ（ハゼ科）

〔前回〕絶滅危惧種 → 〔今回〕リスト外

淀川水系でかなり多くみられることが明らかになった。仔稚魚の浮遊期を過ごす大阪湾の水質が改善されたことも一因と考えられる。



<コケ植物>

ヒロハススキゴケ（ヤスジゴケ科）

〔今回〕要注目種（新規記載）

京都府新産。やや標高の高い、水際など湿った地上に浅緑色の群落をつくる。北半球に広く分布し、日本では北海道～九州（屋久島）に分布するが産地は限られる。



キサゴゴケ（キブネゴケ科）

〔今回〕絶滅危惧種（新規記載）

京都府新産。スギやサクラなど古木の樹幹に着生して生育。日本固有種。



京都府改訂版レッドリスト2023

凡例

- △： アップリスト種
- ▽： ダウンリスト種
- ： 新規掲載種
- ☆： 種名変更など

<は虫類 9種>

は虫類については、今回の改訂より、ランクが上がった種が1種、ランクが下がった種が1種、新規に掲載された種が1種、リスト外に移行された種が4種であった。

絶滅危惧種（1種）

△タカチホヘビ

要注目種（8種）

ニホンイシガメ、ニホンスッポン、シロマダラ、ジムグリ、○シマヘビ、ヒバカリ、
▽ヤマカガシ、ニホンマムシ

※リスト外に移行した種（4種）

クサガメ、ミナミイシガメ、ニホントカゲ、アオダイショウ

<両生類 19種>

両生類については、今回の改訂より、ランクが上がった種が7種、新規に掲載された種が1種、リスト外に移行された種が3種、分類の細分化により種名を変更した種が3種であった。

絶滅寸前種（7種）

ハコネサンショウウオ、☆ホムラハコネサンショウウオ、アベサンショウウオ、
☆セトウチサンショウウオ、☆ヤマトサンショウウオ、ナゴヤダルマガエル、
△ナガレタゴガエル

絶滅危惧種（3種）

オオサンショウウオ、△ヒダサンショウウオ、△ナガレヒキガエル

準絶滅危惧種（4種）

ニホンヒキガエル、△アズマヒキガエル、△ヤマアカガエル、△カジカガエル

要注目種（5種）

アカハライモリ、○ヒメタゴガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル、
△モリアオガエル

※リスト外に移行した種（3種）

ヌマガエル、トノサマガエル、ツチガエル

<淡水魚類 48種>

淡水魚類については、今回の改訂より、ランクが上がった種が2種、ランクが下がった種が2種、新規に掲載された種が5種、リスト外に移行された種が1種、分類の細分化により種名を変更した種が1種であった。

絶滅種（3種）

ニッポンバラタナゴ、ヨドコガタスジシマドジョウ、ミナミトミヨ

絶滅寸前種（14種）

△シロヒレタビラ、イチモンジタナゴ、イタセンパラ、ツチフキ、アブラハヤ、カワバタモロコ、アユモドキ、チュウガタスジシマドジョウ、タンゴスジシマドジョウ、アジメドジョウ、ホトケドジョウ、○ニホンイトヨ、ウツセミカジカ、☆カジカ中卵型

絶滅危惧種（13種）

カワヤツメ、スナヤツメ、カワヒガイ、ズナガニゴイ、ゼゼラ、△ヨドゼゼラ、▽ナガレホトケドジョウ、アカザ、シラウオ、ミナミメダカ、キタノメダカ、オヤニラミ、カマキリ（アユカケ）

準絶滅危惧種（7種）

ヤリタナゴ、アブラボテ、▽カネヒラ、ヌマムツ、○オオシマドジョウ、シモフリシマハゼ、シロウオ

要注目種（11種）

カゼトゲタナゴ山陽個体群、○ナガレカマツカ、ホンモロコ、デメモロコ、ハス、ワタカ、ニゴロブナ、○ドジョウ、○ニシシマドジョウ、ビワコオオナマズ、サケ

※リスト外に移行した種（1種）

ゴクラクハゼ

<コケ植物 140種>

コケ類については、今回の改訂より、ランクが下がった種が6種、新規に掲載された種が12種、リスト外に移行された種が10種、種名を変更した種が1種であった。

絶滅種（3種）

（蘚類）ゴレツミズゴケ、シモフリゴケ、リスゴケ

絶滅寸前種（40種）

（蘚類）ハリミズゴケ、コアナミズゴケ、クマノチョウジゴケ、ジョウレンホウオウゴケ、エビゴケ、イヨススキゴケ、コアミメギボウシゴケ、チャボサヤゴケ、
タチチョウチンゴケ、コシノヤバネゴケ、イトヒバゴケ、タカネメリンソゴケ、
トガリイタチゴケ、オオミミゴケ、キヌヒバゴケ、ケサガリゴケ、ヤクシマツガゴケ、
バンダイゴケ、ササオカゴケ（アオモリカギハイゴケ）、コウヤハイゴケ、ヤリノホゴケ、オ
オヒラツボゴケ、クチキハイゴケ、タマキチリメンゴケ、コマノハイゴケ、
（苔類）エゾヤバネゴケ、エゾヒメヤバネゴケ、ケスジヤバネゴケ、アカヤバネゴケ、
ヒメツボミゴケ、フオウリイイチョウゴケ、ヤハズツボミゴケ、コモチハネゴケ、
キヒシヤクゴケ、ヒラケビラゴケ、エゾノケビラゴケ、ケクラマゴケモドキ、
タカネシゲリゴケ、ヨウジョウゴケ、カギヨウジョウゴケ

絶滅危惧種（48種）

（蘚類）ホソバミズゴケ、ウチワチョウジゴケ、○チャボスギゴケ、
マイマイゴケ（ヤマトマイマイゴケ）、イワマセンボンゴケ、
トウヨウチョウチンゴケ（オオヤマチョウチンゴケ）、ヤマトチョウチンゴケ、
ナガクビサワゴケ、サワゴケ（マキバサワゴケ）、エゾサワゴケ、ナガミノゴケ、
○キサゴゴケ、○ホソヒラゴケ、ムジナゴケ、▽イトゴケ、モロハヒラゴケ、
イバラゴケ（ケムシゴケ）、コキジノオゴケ、ヒメソテツゴケ、○イヌコゴメゴケ、
▽ヒメウスグロゴケ、イトヤナギゴケ（タチヤナギゴケ）、ネジレイトゴケ、
ヤマトソリハゴケ、○アサマヤノネゴケ、キノクニオカムラゴケ、キノクニキヌタゴケ、カト
ウゴケ、ヒラハクシノハゴケ、ヤマハイゴケ、コウライイチイゴケ
（苔類）キリシマゴケ、フタバムチゴケ、アイバゴケ、オヤコゴケ、フサアイバゴケ、
オオヒシヤクゴケ、トゲハヒシヤクゴケ、ヤマトソコマメゴケ、チチブハネゴケ、
ヨコグラハネゴケ、オオシタバケビラゴケ、カハルクラマゴケモドキ、
カゴシマヤスデゴケ、オニヤスデゴケ、ナンヨウサンカクゴケ、○ウラベニジャゴケ、
○タカオジャゴケ

準絶滅危惧種（36種）

（蘚類）ホソベリミズゴケ、クマノゴケ、▽チヂレタチゴケ、キュウシュウホウオウゴケ、
チャイロホウオウゴケ、ヤマトハクチョウゴケ、シナチヂレゴケ、アカスジゴケ、
ハットリチョウチンゴケ、▽コタチヒダゴケ、フロウソウ、イタチゴケ、マツムラゴケ、▽ヒ

ロハシノブイトゴケ、コハイヒモゴケ、ナガスジイトゴケ、ミヤマハイゴケ

(苔類) ヤマトムチゴケ、ホラゴケモドキ、ミヤマホラゴケモドキ、マルバヤバネゴケ、キブリツボミゴケ、マルバコオイゴケモドキ、ナカジマトサカゴケ、ヒメハネゴケ、マルバクラマゴケモドキ、オンタケヤスデゴケ、タラダケヤスデゴケ、シコクヤスデゴケ、ヤマトクサリゴケ、イボヨウジョウゴケ、ヤマトサンカクゴケ、
○モーリッシュシゲリゴケ、モミジスジゴケ、☆ウキウキゴケ、ミヤケハタケゴケ

要注目種 (13種)

(蘚類) オオミズゴケ、○ヒロハススキゴケ、○カンムリゴケ、オタルミスゴケ、
ホウライサワゴケ、▽キブネゴケ (マゴメゴケ)、○ヒラトラノオゴケ、
○コンテリゴケ (フトケゴケ)

(苔類) イトウロコゴケ、ウロコゼニゴケ、ヤワラゼニゴケ、イチョウウキゴケ、
(ツノゴケ類) ヤマトツノゴケモドキ

※リスト外に移行した種 (10種)

(蘚類) オオミゴケ、アラハシラガゴケ、ナガバヒョウタンゴケ、カタハマキゴケ、
ナミカワスナゴケ、オオカサゴケ、オオサワゴケ、コウヤノマンネングサ、
コフサゴケ

(苔類) カビゴケ

は虫類変更点

アップリスト種 (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
トカゲ目	タカチホヘビ科	タカチホヘビ	要注目種	絶滅危惧種	分布が極限されるため。

ダウンリスト種 (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
トカゲ目	ナミヘビ科	ヤマカガシ	準絶滅危惧種	要注目種	分布が極限されないため。

新規掲載種 (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
トカゲ目	ナミヘビ科	シマヘビ	リスト外	要注目種	一部で減少しているため。(2002は要注目種)

リスト外に移行した種 (4種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
カメ目	イシガメ科	クサガメ	要注目種	リスト外	分布が広域のため。外来種の可能性もある。
カメ目	イシガメ科	ミナミイシガメ	準絶滅危惧種	リスト外	外来種の可能性が高い。
トカゲ目	トカゲ科	ニホントカゲ	要注目種	リスト外	分布が広域のため。
トカゲ目	ナミヘビ科	アオダイショウ	要注目種	リスト外	分布が広域のため。

両生類変更点

アップリスト種 (7種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	分布が極限されるため。
カエル目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	要注目種	準絶滅危惧種	分布が極限されるため。
カエル目	ヒキガエル科	ナガレヒキガエル	要注目種	絶滅危惧種	分布が極限されるため。
カエル目	アカガエル科	ナガレタゴガエル	準絶滅危惧種	絶滅寸前種	分布が極限されるため。
カエル目	アカガエル科	ヤマアカガエル	要注目種	準絶滅危惧種	分布が極限されるため。
カエル目	アオガエル科	カジカガエル	要注目種	準絶滅危惧種	分布が極限されるため。
カエル目	アオガエル科	モリアオガエル	要注目種 (地域個体群)	要注目種	分布が極限されるため。

新規掲載種 (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
カエル目	アカガエル科	ヒメタゴガエル	(リスト外)	要注目種	タゴガエルより分類が細分化され新種として記載されたため。(タゴガエルはリスト外)

リスト外に移行した種 (3種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
カエル目	ヌマガエル科	ヌマガエル	要注目種	リスト外	分布広域
カエル目	アカガエル科	トノサマガエル	要注目種	リスト外	分布広域
カエル目	アカガエル科	ツチガエル	要注目種	リスト外	分布広域

種名変更など (3種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ホムラハコネサンショウウオ	(絶滅寸前種)	絶滅寸前種	ハコネサンショウウオより分類が細分化され新種として記載されたため。
サンショウウオ目	サンショウウオ科	セトウチサンショウウオ	(絶滅寸前種)	絶滅寸前種	カシミサンショウウオの分類が細分化され新種として記載されたため。
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヤマトサンショウウオ	(絶滅寸前種)	絶滅寸前種	カシミサンショウウオの分類が細分化され新種として記載されたため。

淡水魚類変更点

アップリスト種 (2種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
コイ目	コイ科	シロヒレタビラ	絶滅危惧種	絶滅寸前種	府内のいずれの河川・池沼においても激減。
コイ目	コイ科	ヨドゼゼラ	準絶滅危惧種	絶滅危惧種	もともと府内では分布域が限られていたが、近年、生息環境の悪化が加速度的に進み減少。

ダウンリスト種 (2種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
コイ目	コイ科	カネヒラ	絶滅危惧種	準絶滅危惧種	府内でも淀川水系と由良川水系でも普通に見られる。日本在来のタナゴ亜科魚類のなかで、本種のみが安定した状態を維持しているため。
コイ目	ドジョウ科	ナガレホトケドジョウ	絶滅寸前種	絶滅危惧種	京都府北部を中心に比較的多くの生息地を見出すことができたため。

新規掲載種 (5種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
コイ目	コイ科	ナガレカマツカ	(リスト外)	要注目種	カマツカより分類が細分化され新種として記載されたため。
コイ目	ドジョウ科	ドジョウ	リスト外	要注目種	近年、1種と考えられていたドジョウが実は複数の種に分類されることが明らかとなったため。
コイ目	ドジョウ科	オオシマドジョウ	(リスト外)	準絶滅危惧種	シマドジョウの分類が細分化され別種であることが明らかになったため。
コイ目	ドジョウ科	ニシシマドジョウ	(リスト外)	要注目種	シマドジョウの分類が細分化され別種であることが明らかになったため。
トゲウオ目	トゲウオ科	ニホンイトヨ	リスト外	絶滅寸前種	繁殖のために遡上する親魚が激減したため。

リスト外に移行した種 (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
スズキ	ハゼ	ゴクラクハゼ	絶滅危惧種	リスト外	淀川水系でかなり多くみられることが明らかになったため。

種名変更など (1種)

目名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
スズキ目	カジカ科	カジカ中卵型	(絶滅寸前種)	絶滅寸前種	ウツセミカジカより分類が細分化され別種であることが明らかになったため。

コケ植物変更点

ダウンリスト種 (6種)

綱名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
蘚類	スギゴケ科	チヂレタチゴケ	絶滅危惧種	準絶滅危惧種	大型のナミガタタチゴケとして誤認されていた可能性があるため。
蘚類	タチヒダゴケ科	コタチヒダゴケ	絶滅危惧種	準絶滅危惧種	確認された産地が増えたため。
蘚類	キブネゴケ科	キブネゴケ (マゴメゴケ)	絶滅種	要注目種	府内では絶滅したと思われたものが確認された。ただしいずれも極めて小群落。
蘚類	ハイヒモゴケ科	イトゴケ	絶滅寸前種	絶滅危惧種	確認された産地が増えたため。
蘚類	ハイヒモゴケ科	ヒロハシノブイトゴケ	絶滅危惧種	準絶滅危惧種	確認された産地が増えたため。
蘚類	ウスグロゴケ科	ヒメウスグロゴケ	絶滅寸前種	絶滅危惧種	確認された産地が増えたため。

新規掲載種 (12種)

綱名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
蘚類	スギゴケ科	チャボスギゴケ	新規	絶滅危惧種	京都府新産。2015時点では誤同定での記載であった。
蘚類	ヤスジゴケ科	ヒロハススキゴケ	新規	要注目種	京都府新産。日本では産地は限られる。
蘚類	カゲロウゴケ科	カンムリゴケ	新規	要注目種(情報不足)	京都府新産(情報不足)。
蘚類	キブネゴケ科	キサゴゴケ	新規	絶滅危惧種	京都府新産。5個所で確認。
蘚類	ヒラゴケ科	ホソヒラゴケ	新規	絶滅危惧種	京都府新産。
蘚類	ヒラゴケ科	ヒラトラノオゴケ	新規	要注目種	京都府新産。
蘚類	コゴメゴケ科	イヌコゴメゴケ	新規	絶滅危惧種	京都府新産。
蘚類	アオギヌゴケ科	アサマヤノネゴケ	新規	絶滅危惧種	京都府新産。
蘚類	マイリンゴケ科	コンテリゴケ (フトケゴケ)	新規	要注目種	京都府新産。(前回の記載漏れ)
苔類	クサリゴケ科	モーリッシュシゲリゴケ	リスト外	準絶滅危惧種	京都府内の5個所から知られていたが、近年は見つかっていないため。
苔類	ジャゴケ科	ウラベニジャゴケ	(リスト外)	絶滅危惧種	ジャゴケの分類が細分化のため新種として記載された。
苔類	ジャゴケ科	タカオジャゴケ	(リスト外)	絶滅危惧種	ジャゴケの分類が細分化のため新種として記載された。

リスト外に移行した種 (10種)

綱名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
蘚類	オオミゴケ科	オオミゴケ	絶滅危惧種	リスト外	確認された産地が増えたため。
蘚類	シラゴケ科	アラハシラゴケ	絶滅危惧種	リスト外	西芳寺境内など寺社の庭園でしばしば生育。ただし野外では見つかっていない。
蘚類	センボンゴケ科	ナガバヒヨウタンゴケ	準絶滅危惧種	リスト外	外来種の可能性があるため。
蘚類	センボンゴケ科	カタハマキゴケ	準絶滅危惧種	リスト外	生育環境(路傍のコンクリート壁など)を考慮してリストから外す。
蘚類	ギボウシゴケ科	ナミカワスナゴケ	絶滅寸前種	リスト外	本種はチョウセンスナゴケの同定間違いであり、日本のフロラから排除されたため。
蘚類	ハリガネゴケ科	オオカサゴケ	準絶滅危惧種	リスト外	確認された産地が増えたため。
蘚類	タマゴケ	オオサワゴケ	絶滅危惧種	リスト外	本種は日本産フロラから除かれたため。
蘚類	コウヤノマンネングサ	コウヤノマンネングサ	準絶滅危惧種	リスト外	中・北部で産地が多数確認されたため。
蘚類	イワダレゴケ科	コフサゴケ	絶滅危惧種	リスト外	確認された産地が増えたため。
苔類	クサリゴケ科	カビゴケ	絶滅寸前種	リスト外	産地が非常に多いため。府内各地で確認。

種名変更など (1種)

綱名	科名	種名	京都府RL2015	京都府RL2023	備考
苔類	ウキゴケ科	ウキウキゴケ	準絶滅危惧種	準絶滅危惧種	和名の変更。(2015はウキゴケ)